

再住妙心當山四世永香宗禪師大和尚

平成三十一年四月十四日 示寂

享年 九十歲

# 密葬記錄

平成三十一年四月十六日 通夜

四月十七日 密葬

令和元年五月三十一日 本葬

周岳山 政林寺



差定（密葬）

総監 海國和尚

知客 大法和尚

大須 総見和尚

総持和尚

光勝閑栖和尚

清須 総見副住和尚（典礼）

副司 慈雲和尚

濟松和尚

凌雲和尚

大須 総見副住和尚

徳授副住和尚

雲衲一位

知殿 光勝和尚

靈光和尚

松下 観音和尚

徳授副住和尚

東照和尚

靈泉和尚

三應 靈光和尚

典座 慈雲寺閑栖和尚

尊侍兼 長盛和尚

茶頭 同夏和尚

雲衲一位

右

役配（密葬）

秉炬導師 江松軒老大師

奠茶導師 古月庵老大師

奠湯導師 孤雲室老大師

密葬導師 海國和尚

起龕導師 大法和尚

鎖龕導師 総持和尚

通夜導師 光勝閑栖和尚

安骨導師 大須 総見和尚

押送 大法和尚

引請 大須 総見和尚

直歳 慈雲和尚

念誦 光勝和尚

維那 光勝和尚

六役 光勝和尚

靈光和尚

徳授副住和尚

東照和尚

靈泉和尚

雲衲一位

右

謹告

十六日午後六時殿鐘五声支度同連声出頭

導師焼香 當夜念誦 十佛名

導師焼香 世尊偈大悲咒 當夜念誦諷經回向  
退堂

十七日午前十一時殿鐘五声支度同連声本威儀出頭

龕前念誦 十佛名 導師焼香 大悲咒 鎖龕諷經回向

導師焼香 大悲咒 起龕諷經回向 鼓鉞（四・二・三）三通

導師焼香 楞嚴咒（一・五の段） 荼毘回向

退堂

右

小知客敬白

四月十六日 通夜 式次第

午後六時 通夜ノ儀

一般着席

在家 知客・総持和尚

尊宿和尚出頭

尊宿 知客・総見和尚

通夜導師 光勝閑栖和尚

大方 知客・大法和尚

導師焼香

導師 知客・海國和尚

通夜念誦 十佛名

導師焼香

読経 世尊偈・大悲咒

通夜回向

退堂

四月十七日 密葬 式次第

午前十一時 密葬ノ儀

尊宿 知客・総見和尚

鎖龕・起龕・密葬導師入堂

大方 知客・光勝閑栖和尚

龕前念誦 十佛名

導師 知客・済松和尚

導師焼香 大悲咒 鎖龕諷経回向

導師焼香 大悲咒 起龕諷経回向

鼓鉦(四・二・三)三通

導師焼香 楞嚴咒(一・五の段) 荼毘回向

退堂

安骨諷経

午後三時頃

安骨導師 総見和尚

導師 知客・総持和尚

侍真 大法和尚

焼香三拜 奠供三拜

大悲咒(経中三拜)

安骨諷経回向

退堂

書院にて出齋

散筵

訃音

阜山四杏正宗和尚儀

豫而四大不調療養中之歿

四月十四日遷化致候

就而者五月三十一日午前十時

津送引統新忌齋修行支度

御繁忙中誠乍恐縮御隨喜

賜度伏而奉悃願候

誠恐惶頓首敬白

平成三十一年四月

周嶽山政林寺

小師好正九拜

堂頭老大和尚

侍史下

欽啓上

即辰黃鶯織柳之候

伏惟

江松軒老大師金蓮大座下震艮愈愈  
御清福御應化可被為遊候條法門  
大慶不過焉不堪欣幸之至奉欽賀候  
專陳者卑山第四世正宗和尚豫而四大  
不順之處藥石無効去四月十四日遷化  
仕候

就而者來五月三十一日午前十時津送並  
新忌齋嚴修仕度候間御法務御多端  
之砌且御遠路誠乍恐縮秉炬大導師  
被成下度此段伏而奉懇願候

誠恐惶頓首敬白

平成三十一年四月

小師 好正 九拜

欽上

江松軒老大師

金蓮大座下

## 訃状

當山前住職曾我部正宗儀かねて病氣療養中のところ  
四月十四日遷化致しましたここに生前のご厚情を  
深謝し謹んで御通知申し上げます

なお密葬の儀は四月十七日近親者にて相済ませました

おつて本葬儀は先に依り相営みます

### 記

一、日時 五月三十一日（金）午前十時より十一時三十分

一、式場 政林寺

平成三十一年四月二十二日

政林寺住職 曾我部好正  
政林寺檀徒総代一同

檀信徒各位